

OPERATION MANUAL

ラミネーター

Mimaki

LA-140W

LA-160W

LA-140W Plus

LA-160W Plus

Mimaki
a-meccanica

LAR-55

LAR-63

取扱説明書



目次

はじめに.....	3
ご注意.....	3
テレビ / ラジオの受信障害について	3
安全にお使いいただくために	4
セットアップ.....	6
各部の名称とはたらきについて.....	10
装置前面 / 側面	10
装置背面	10
装置全体構造図 (断面).....	10
コントロールパネル (正面右側)	11
電源を入れる / 切る	12
電源を入れる.....	12
電源を切る	12
安全機能について.....	12
安全機能のリセット方法.....	13
基本操作.....	13
送り操作	13
反転送り	14
ローラーの高さと圧力調整	14
ヒーター	14
送り長さの設定 (LA-140W Plus, 160W Plus のみ)	15
ラミネートの長さを測る (LA-140W Plus, 160W Plus のみ)	15
フィルムをセットする	16
ロックシャフトへのメディアおよびフィルムのセット	16
メディアおよびフィルムのセット 方法 (アンダーフィルム使用).....	17
日常のお手入れ.....	19
お手入れ上のご注意	19
本機のお手入れ	19
安全テスト	20
緊急停止スイッチ.....	20
日常のお手入れと注意事項	20
シリコンローラーについて	20
日常の点検	20
光電センサーの点検	20
故障かなと思ったら	21
電源が入らない	21
モーターが回転しない	21
モーターの回転速度が速すぎるが、速度を調整できない	21
メディアが蛇行する	21
メディア送り量がカウントされない.....	21
ラミネート作業中に、メディアに U 字型のシワができる.....	22
ラミネート作業中に、メディアにハの字型のシワができる.....	22
仕様	23

はじめに

この度は、ラミネーター LA-140W, 160W, 140W Plus, 160W Plus, LAR-55, 63 をご購入いただき、誠にありがとうございます。本書をよくお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

テレビ/ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り 受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせるお試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

おねがい

- 本書は、「ラミネーター LA-140W, 160W, 140W Plus, 160W Plus, LAR-55, 63」（以後本機と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからってください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- マニュアルの最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
2017© 株式会社ミマキエンジニアリング

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

使用上の警告と注意

警 告



- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 表示された電源仕様で使用してください。本機の電源電圧は、単相 100V 15A 以下です。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源ボタンをオフにして、その後必ずソケットをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本機の分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。



- 本機に子供を近づけないでください。

ご注意とお願い

！ 注 意**電源ケーブルについて**

- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 極性付きのコンセントに接続してください。
- 必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。

可動部について

- 動作中は、可動部分に顔や手を近づけないでください。髪の毛を巻き込んだり、ケガをする場合があります。
- 作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で作業しないでください。また、長い髪の毛は束ねるか、もしくは帽子に入れるなどしてください。
- テンションコントローラーのつまみを回すときは、つまみとカバーとの隙間に手を挟まないように注意してください。

**使用場所について**

- 高度2000m以下の場所で本機を使用してください。

メンテナンス上の注意

- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。

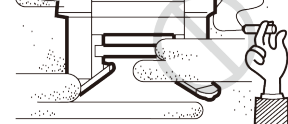
本機の廃棄処分について

- 本機を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。

設置上のご注意

！ 注 意**直射日光が当たる場所****水平でない場所****振動が発生する場所****エアコンなどの風が直接当たる場所****温度や湿度の変化が激しい場所**

- 次の環境下でお使いください。
- 使用環境：
20 ～ 40 °C
(68 ～ 104 °F)
35 ～ 65 % (Rh)

火を使う場所

セットアップ

本機のセットアップは、下記の手順に沿って行ってください。



- 本機は重いので、移動の際はフォークリフトを使用してください。
- 設置場所に物を置いたり人が近づかないようにしてください。装置の破損や怪我の原因になります。

1

開梱する。外箱下部（赤枠）にあるねじをすべて外し上へ持ち上げる。

- M8 ボックスレンチ推奨



2

付属品を確認する。

- 付属品リスト

No.	名称	個数	備考
1	フットスイッチ	1	-
2	スパナ	1	13-15
3	六角レンチ	5	3,4,5,6,8mm
4	M8*20 六角穴付ボルト	10	予備 2 本を含む
5	3P-2P アダプタ	1	日本のみ
6	Fuse	2	5A
7	スプリングワッシャー M8 用	10	予備 2 個を含む
	平ワッシャー M8 用	10	予備 2 個を含む
8	各種マニュアルについて	1	-



- 付属品は下記発泡材の中に設置していますので、忘れずにお取りください。



3

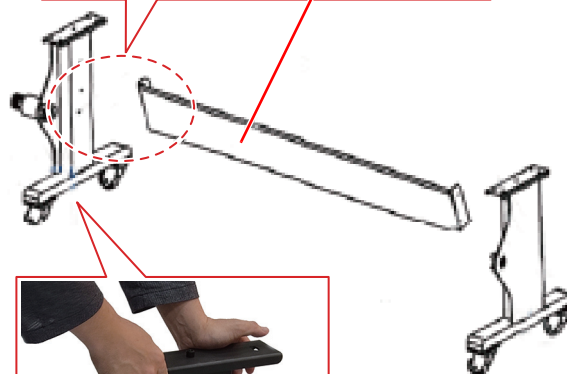
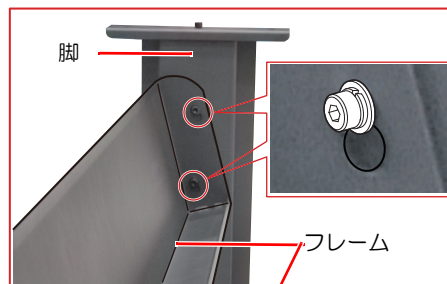
脚にフレームを取り付ける。

- 必要部品

M8*20 六角穴付ボルト 4 本

M8 スプリングワッシャー 4 個

M8 平ワッシャー 4 個

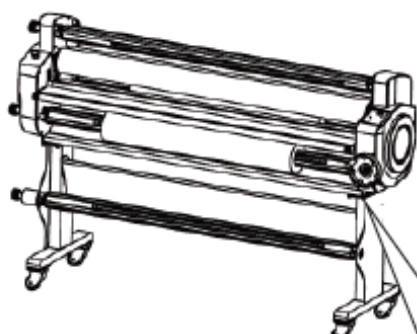
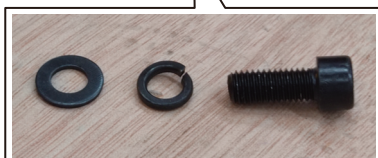


- 図のフレームの取り付け向きに注意してください。
- ステー取り付け時は、フレームとステアのラベルを合わせる。
- 推奨締め付けトルク :8N.m
手でネジが回らなくなるまで締め、そこから六角レンチで 1 回転半増し締めしてください。

4

本体を脚に載せる。

- 必要部品
M8*20 六角穴付ボルト 4本
M8 スプリングワッシャー 4個
M8 平ワッシャー 4個



背面



正面



注意

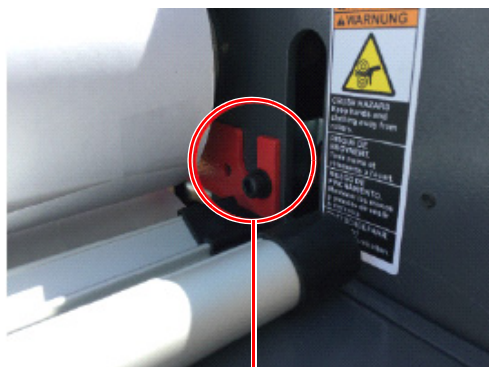
- 脚と本体をボルトで固定する前に、写真のように脚と本体の側面を揃えてください。
- 本体の向きを確認してください。メディア繰り出しがある方が正面です。
- 本体が重いので、8人以上で持ち上げてください。

- 5** フットスイッチケーブルのコンネクターを本機背面のインレットに挿入する。



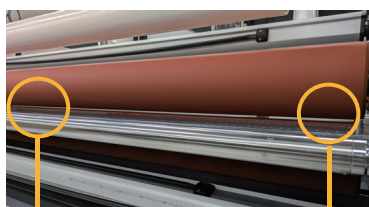
フットスイッチケーブル

- 6** シリコンローラーを固定しているブラケット（赤色）を取り外す。ブラケットを取り外す際、ハンドルを回し、シリコンローラーを一番上に上げる。



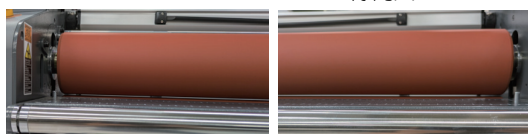
ブラケット（赤色）

- 7** 上、下段シリコンローラーの隙間が均一に空いているかを目視で確認する（左右の差が1mm以下）。上下シリコンローラーの隙間が均一でない場合は、ローラーの平行度を以下の手順で確認



隙間小

隙間大



- 8** 坪量 70g/m² の上質紙、コピー用紙を準備する（厚み：0.09～0.1mm/枚）。



- 剛性の大きな厚紙、テクスチャ用紙はシリコンローラーを傷つける恐れがあるため使用しないこと。
- コート紙は坪量 70g/m² でも厚みが薄いため、厚みを測定のうえでの使用を推奨。

- 9** 準備した 70g 紙を 10 枚重ねて（厚みは 0.9～1.0mm）、隙間の大きい端部に差し込む。70g 紙 10 枚が上下ローラーに接触しつつ、抜き差しできるところまで上シリコンローラーを下げる（ハンドルで高さ調整）。



70g 紙 10 枚
（厚み 0.9～1.0mm）

ハンドル

- 10** 手順 9 の状態で、70g 紙 1 枚（厚みは 0.09～0.1mm/枚）を反対端まで移動させる。反対端まで移動できれば問題無し。反対端まで移動できない場合は、平行度調整を実施する。



70g 紙 1 枚
（厚み 0.09～0.1mm）

70g 紙 10 枚
（厚み 0.9～1.0mm）



- 目視で上、下段シリコンローラーの平行度がずれている場合は、平行度を調整してください。（作業方法は保守説明書をご参照ください）

11

光電センサーの動作を確認する。



- 電源を入れ、モーターキーを押してもモータが動作しない場合、上段シリコンローラーを落としてモーターキーを押しても下段シリコンローラーが回転しない場合は、光電センサーの位置がずれた可能性があるので、位置調整を行ってください。（作業方法は保守説をご参照ください。）

各部の名称とはたらきについて

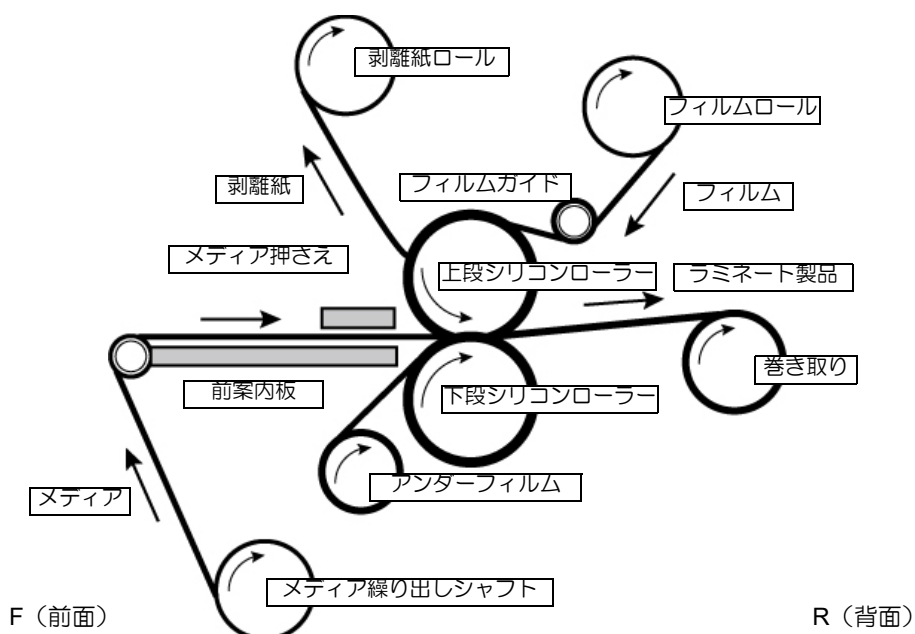
装置前面 / 側面



装置背面



装置全体構造図 (断面)

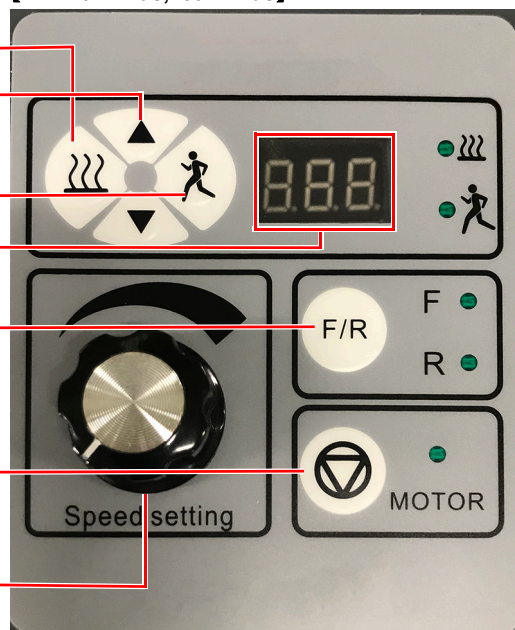


コントロールパネル (正面右側)

【LA-140W,160W, LAR-55,63】



【LA-140W Plus,160W Plus】



	名称		機能
(1)	ヒーターキー		ヒーターを ON または OFF にします。 カウンターが ON のときは、長押しすると温度が表示されます。
(2)	ジョグキー	ヒーター	ヒーター温度を設定します。 60℃まで設定可能です。
		カウンター	ラミネーターの送り長さを設定します。 設定した長さのラミネートを行ってから自動で止まります。 長さの設定を0にすると、ラミネートされた長さが表示されます。この場合、自動で止まりません。
(3)	カウンターキー		カウンター機能を ON または OFF にします。
(4)	ディスプレイ	ヒーター	ヒーター温度が表示されます。 °F：力氏表示 °C：セ氏表示（デフォルト）
		カウンター	ラミネートの送り長さが表示されます。国の単位により表示を切り替えることができます。 M：メートル表示（デフォルト） F：インチ表示（距離単位はフィート）
(5)	下段シリコンローラー回転方向キー		下段シリコンローラーの回転方向を変更します。 F：正転 R：逆転
(6)	モーターキー		下段シリコンローラーの回転を ON または OFF にします。
(7)	速度調整ノブ		下段シリコンローラーの回転速度を設定します。

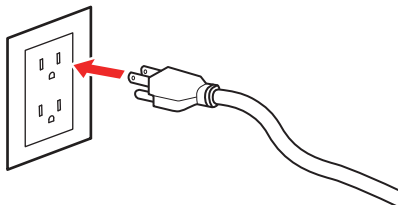
Hint!

・ 温度を設定してから 6 秒後に自動的にシリコンローラーの実際の温度が表示されます。

電源を入れる / 切る

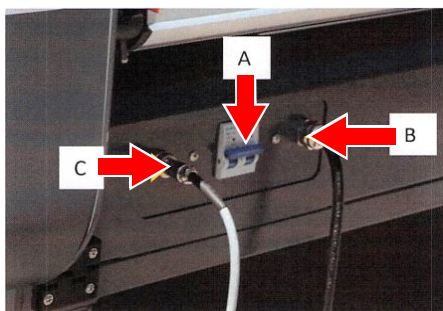
電源を入れる

- 1** 電源ケーブルをコンセントに接続する。(電圧を確認すること)



• 必ずアースに接続してください。アースに接続しないと、感電したり本機が破損したりする恐れがあります。

- 2** フットスイッチのプラグ(下図 C)が、装置背面のコネクターに接続されていることを確認する。



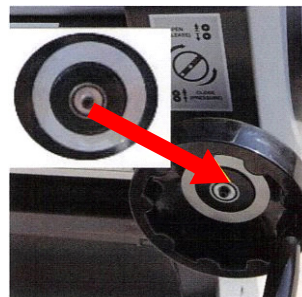
- 3** 電源スイッチ(上図 A)を ON にする。
• スイッチを上げると、電源が ON になります。

電源を切る

使用が終了したら、本機背面にある電源スイッチで電源を OFF します。

- 1** 上段ローラーを数ミリ上げ、下段ローラーと離す。

• 上段ローラーを上げて、下段ローラーに接触しないようにすると、シリコンローラーの変形を防げます。(ローラー昇降ハンドルを時計回りに回すと上段ローラーが上がります)



- 2** 電源スイッチを下げ、電源を OFF にする。

安全機能について

本機は自動的にローラーを停止する 3 つの安全装置が付いています。

● 光電センサー

光線を遮断する障害物を感知して、ローラーを停止します。コントロールパネルのモーターキーを押すと、解除できます。



• 光電センサーからの光は絶対に直接のぞき込まないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。

● フットスイッチ



フットスイッチを踏んでいる間、ローラーを駆動させることができます。
フットスイッチから足を離すとローラーは自動的に停止します。

光電センサーからの光線が遮断されてない場合には、フットスイッチを踏むと、シリコンローラーはコントロールパネルの速度調整ノブで設定した速度で回転します。

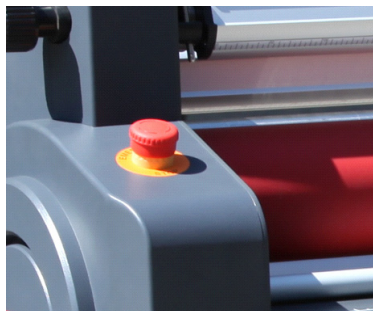
光電センサーからの光線が遮断された場合には、フットスイッチを踏むと、シリコンローラーは 1m/min の速度で回転します。



- ・フットスイッチを踏んでいる間は、光電センサーによる安全機能は停止しています。ローラーの回転は止まりませんので、十分ご注意ください。

● 緊急停止スイッチ

正面左側にあります。これを押すと本機が直ちに停止します。



安全機能のリセット方法

緊急停止スイッチを押した場合、ローラーが再駆動することはありません。
安全機能をリセットするには、緊急停止スイッチを時計回りに回して元の位置に戻してください

基本操作

送り操作



- ・「電源を入れる / 切る」の内容をよく確認の上、作業してください。
- ・上段ローラーを触らないでください。設定温度によりローラーが高温になり、ヤケドの恐れがあります。

1

速度調整ノブで、搬送スピードを調節する。

- ・ラミネートを開始するときは、低速に設定します。

【LA-140W,160W, LAR-55,63】

【LA-140W Plus,160W Plus】



(Hint!)

- ・遅いスピードでスタートさせ、ラミネートに異常がないことを確認した後、徐々にスピードを上げていくとより簡単に操作できます。
- ・高速設定で始動した場合は、一度低速に戻してください。搬送が安定したら徐々にスピードを上げてください。



- ・極端な低速運転を継続すると、モーター発熱による保護機能が作動し、運転が停止する場合があります。加工品質に問題の無い範囲で速度を上げて、ご使用ください。

2

コントロールパネルのモーターキーを押して、ローラーを回転させる。

- ・本機はフットスイッチでも駆動できます。
- ・フットスイッチを使う場合は、フットスイッチの取り扱い方を参照してください。

【LA-140W,160W, LAR-55,63】

【LA-140W Plus,160W Plus】



(Hint!)

- ・印刷物が正しくラミネートされていることを確認したら、モーターキーを押して自動運転に切り替えてください。

3

シリコンローラーが回転しているときに、もう一度モーターキーを押して、装置を停止させる。

- 装置はフットスイッチでも停止させることができます。
- フットスイッチを使う場合はP.12のフットスイッチの取り扱い方を参照してください。

【LA-140W,160W, LAR-55,63】

【LA-140W Plus,160W Plus】



- 非常時には、ペダルから足を放すか、緊急停止スイッチを押して、本機を停止させてください。

反転送り



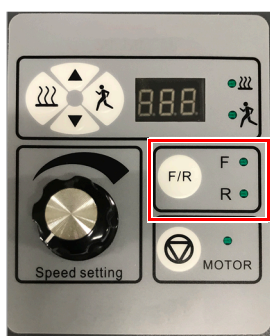
- 反転送りはフットスイッチによる動作のみです。コントロールパネルでは操作できません。

コントロールパネルの下段シリコンローラー回転方向キーを押します。「R」の表示灯が点灯した状態でモーターを回転させると、反転送りができます。

- 反転送りのスピードは 1mm/min です
- もう一度下段シリコンローラー回転方向キーを押すと、ローラーは通常の方で回転します。

【LA-140W,160W, LAR-55,63】

【LA-140W Plus,160W Plus】

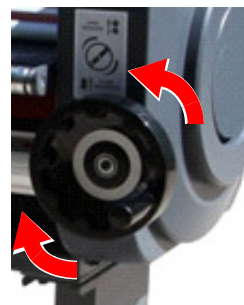


ローラーの高さと圧力調整

本機は手動操作により、上段ローラーを上昇・下降させることで、ローラーの高さと圧力を調節することができます。

これにより、厚みのある素材でも加工が可能です。(最大厚さ: 35mm)

- ローラー昇降ハンドルを時計回りに回すと、上段ローラーが上がります。
- ローラー昇降ハンドルを反時計回りに回すと、上段ローラーが下がり、加圧します。



ヒーター

1

ヒーターキーを押して、上段シリコンローラーのヒーターを温める。

- もう一度押すと、ローラーヒーターを OFF にします。

【LA-140W,160W, LAR-55,63】

【LA-140W Plus,160W Plus】



2

ジョグキーを押して、上段シリコンローラーの温度を調整する。

- 設定範囲: 環境温度 ~ 60 °C

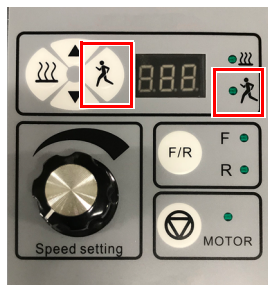
重要!

- 設定温度によっては、予熱完了までに時間がかかる場合があります。

送り長さの設定 (LA-140W Plus,160W Plus のみ)

LA-140W Plus,160W Plus, では、ラミネートする長さを設定することができます。設定した長さまでラミネートしたら、自動的に停止します。

- 1 カウンターキーを押す。
・カウンターのランプが点灯します。



- 2 ジョグキーを押してラミネートする長さを設定する。



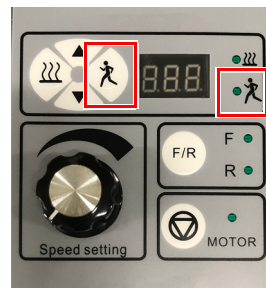
- 3 モーターキーを押す。
・ラミネートを開始します。
・設定した長さで自動的に停止します。



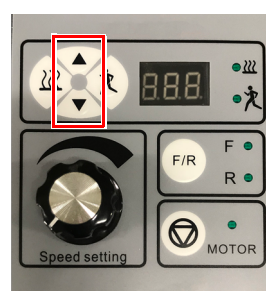
- 4 終了するときは、カウンターキーを押す。
・カウンターのランプが消えます。

ラミネートの長さを測る (LA-140W Plus,160W Plus のみ)

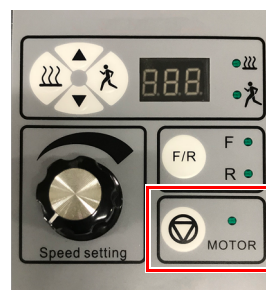
- 1 カウンターキーを押す。
・カウンターのランプが点灯します。



- 2 ジョグキーを押してラミネートの長さを 0 に設定する。



- 3 モーターキーを押す。
・ラミネートを開始して、送り長さを計測します。
・計測した長さはディスプレイに表示されます。



- 4 停止するときは、モーターキーを押す。

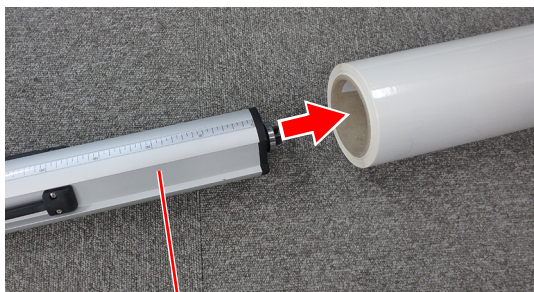
(Hint!) ・次の作業を開始するときは、モーターキーをもう一度押してください。ディスプレイの表示が 0 になり、計測が開始されます。

- 5 終了するときは、カウンターキーを押す。
・カウンターのランプが消えます。
・ディスプレイに表示された現在のラミネートの長さが点滅します。

フィルムをセットする

ロックシャフトへのメディアおよびフィルムのセット

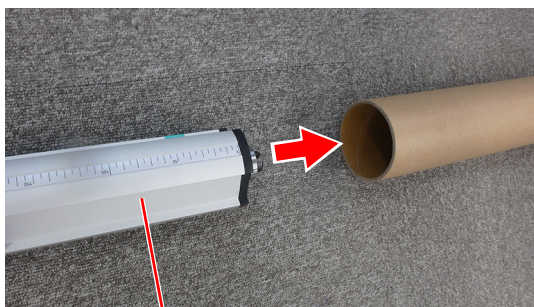
- 1** ロックシャフトをフィルムロールの紙管 / メディアロールの紙管/アンダーフィルムの紙管に入れる。



ロックシャフト

- 重要!**
- 使用できる紙管の直径は 76mm (3 インチ) です。
 - シャフトを紙管に挿入する前に、水でシャフトのゴム紐を拭いてください。

- 2** ロックシャフトを、剥離紙巻き取り用 / 製品巻き取り用の紙管に入れる。

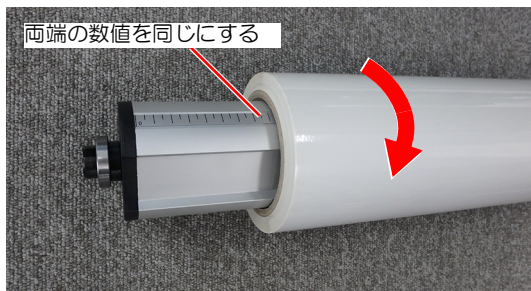


ロックシャフト

- 重要!**
- 使用できる紙管の直径は 76mm (3 インチ) です。

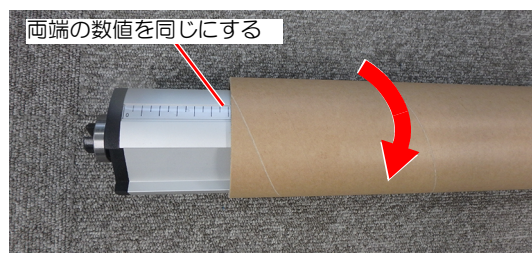
- 3** フィルムロールとメディアロールを、シャフト中央に移動・調節する。

- シャフト両端のゲージを目安にフィルムロールの位置を調節してください。
- 紙管がシャフトにロックされるように、紙管をしっかりとねじります。
- メディアロール (紙管) を取り外すときは、紙管とシャフトをねじってスライドしてください。



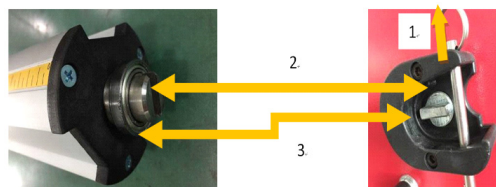
- 4** 巻き取り用紙管を、シャフト中央に移動・調節する。

- シャフト両端のゲージを目安にフィルムロールの位置を調節してください。
- 紙管がシャフトにロックされるように、紙管をしっかりとねじります。



- 5** シャフトをセットする (LA-140W, 160W, 140W Plus, 160W Plus の場合)。

- 左右両端のシャフトホルダーからピンを取り外します。
- 先に、シャフト先端の「一」形溝をシャフトホルダー内の「一」形突起に合わせるようにセットします。
- シャフトの反対側をシャフトホルダーにセットします。
- シャフトホルダーにピンを挿します。



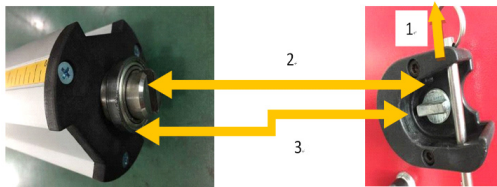
- ロックシャフトに付いている黒いゴムチューブは手で引っ張らないでください。

- 6** シャフトをセットする (LAR-55, 63 の場合)。

- 左右両端のシャフトホルダーからピンを取り外します。
- 左側のシャフトホルダーに押し込むように、シャフトの左端をセットします。



- 右側のシャフトホルダーに、シャフトの右端をセットします。
- シャフトを回し、シャフトがシャフトホルダーにロックされたことを確認します。
- シャフトホルダーにピンを挿します。



- ロックシャフトに付いている黒いゴムチューブは手で引っ張らないでください。
- シャフトをセットするときは、メディアロールではなく、必ずロックシャフトを持ってセットしてください。



メディアおよびフィルムのセット 方法 (アンダーフィルム使用)

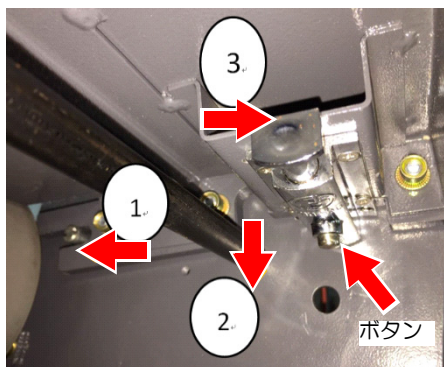
1 装置全体構造図により、各シャフトを本機にセットする。



- フィルムの接着面がユーザー側（正面）にくるようにしてください。

2 前案内板を取り外す。

- ローラー昇降ハンドルを時計回りに回し、上段ローラーを一番高いところまで上げます。
- 前案内板下のボタンを押します。
- 前案内板の中央部を持ちながら、手前に引き、上に持ち上げて取り外します。



3

上段シリコンローラーを加熱する。

- (1) コントロールパネルの下段シリコンローラー回転方向キーを押し、「F」（時計回り）の状態に設定する。
- (2) 速度調整ノブを一番左に回して最小スピードにする。
- (3) モーターキーを押す。
- (4) 速度調整ノブで、スピードを低速まで上げる。
- (5) ヒーターキーを押し、ジョグキーで温度を目標温度に設定する。
 - 上段シリコンローラーの加熱が開始されます。



- 低温でのラミネート作業には、通常は温度を 30℃～40℃に設定してください。
- 設定温度に到達したら、モーターキーを OFF にしてください。
- 加熱機能を使わない場合には、この手順をスキップしてください。

4

アンダーフィルムをセットする。

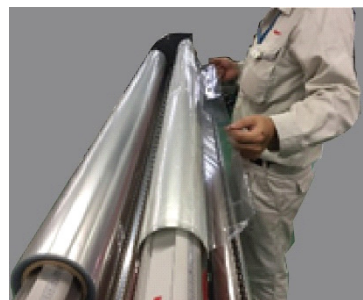
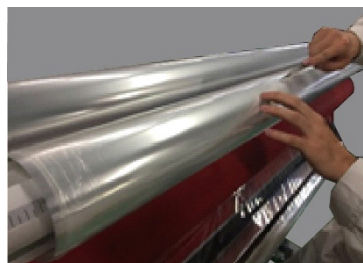
- 断面図のように、アンダーフィルムを上、下段シリコンローラーの隙間を通過させます。
- 一定のテンションを保ちながら本機の背面側からひっぱり、テープで製品巻き取りシャフトの3箇所（左、中央、右）に固定します。



5

フィルムから剥離型紙をはがす。

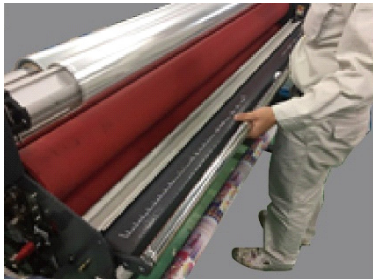
- 装置全体構造図（断面図）のように、剥離型紙を剥離型紙紙管にテープで3箇所固定し、手動で2～3周回します。
- 適当なところで、カッターでフィルムを切り、粘着剤のついた面を引っ張り出します。



6

前案内板を戻し、メディア押さえ板を取り外す。

- (1) 前案内板の中央部を持ちながら、両端の溝と下段シリコンローラー両端の近くにある位置決めピンに合わせるように、斜めに本体に入れる。
- (2) 前案内板の下にあるボタンを押し、本体に固定する。
- (3) 前案内板からメディア押さえ板を取り外す。



7

フィルムをセットする。

- (1) 剥離型紙から剥がされたフィルムを手前方向に適当な長さまで引き出す。
- (2) フィルムの背面を上段シリコンローラーの上に置き、隙間がないように貼り合わせる。
- (3) 下部のフィルムを上下段シリコンローラーの隙間に入れて、上下段シリコンローラーが接する位置にセットする。
- (4) 昇降ハンドルを回して、上段ゴムローラを下げる。



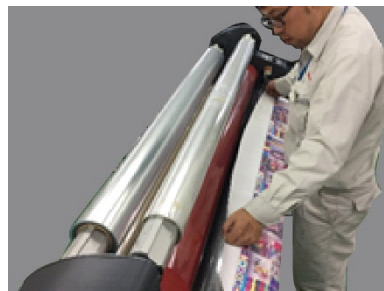
・フィルム接着面を外側に出してください。

- ・両面接着シートは、黒い分離バーを通し、剥離紙を剥がします。位置決め後、メディアをラミネートフィルムに貼り付けてください。

8

メディアをフィルムの接着面に貼り付け、メディアを送る。

- (1) メディアロールから、メディアを平行に引き出し、一定のテンションを保ちながら、フィルムの接着面に貼り付ける。
- (2) フットスイッチまたはモーターキーで、低速でメディアを送る。



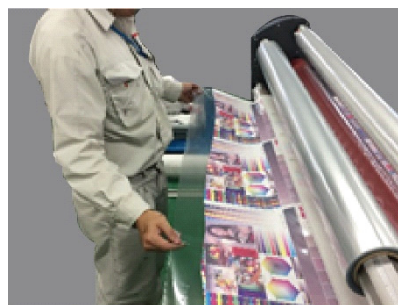
● モーターキーでメディアの先端をフィードする場合

- (1) 速度調整ノブを反時計回りに回して最小スピード (0mm/min) に設定する。
- (2) モーターキーを押す。
- (3) 速度調整ノブを時計回りに回して速度を低速に調整し、メディアの先端をフィードする。

9

ラミネート製品の先端を製品巻き取りシャフトの紙管に固定する。

- ・一定のテンションを保ちながら、3箇所（左、中央、右）にテープで固定します。



- ・必要に応じて、ラミネート製品の先端を適当なところでカットしてから、製品巻き取りシャフトの紙管に固定してください。

- 10** メディアに蛇行や異常がなければ、メディア押さえ板を戻して、速度調整ノブで速度を上げ、作業時間を短縮する。

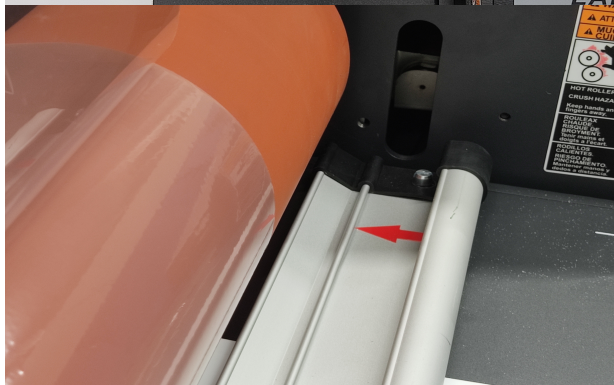
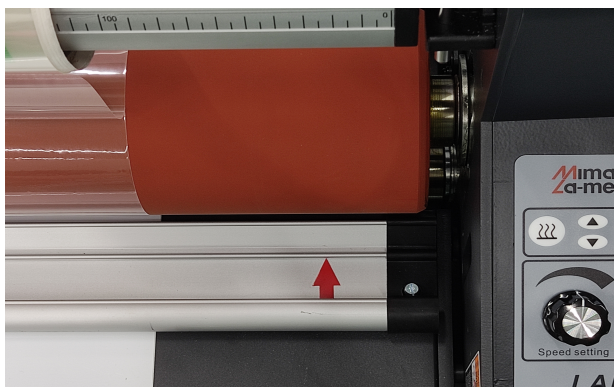


メディア押さえ板は、丸まっている側を手前にして取り付けてください。



向きが反対の場合、光電センサーが障害物として検知する場合があります。

矢印の方向はメディア送りの方向と同じになるようにしてください。



ラミネート作業時のご注意

- メディアをフィルム接着面に貼り付けるときは、メディアのふちとフィルムのふちが平行になるように貼り付けること。
- ラミネート作業中は、メディアとフィルムの表面に適切なテンションを加えること。テンションを、テンションつまみで管理すること。
- 本機の設置条件：設置面が平坦で、かつ周囲に異物がなく、乾燥していること。
- 本機のケーブルを、通路に置かないこと。
- メディアの表面を乾燥させてから、ラミネート作業を開始すること。
- アンダーフィルムの幅は、フィルムの幅より広いこと。
- メディアが蛇行する場合は、メディアセットの方法をまず確認し、問題がなければ、上、下段シリコンローラーの平行度を確認すること。

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。



- 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。



- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

本機のお手入れ

以下の頻度で本機をお手入れしてください。



- シリコンローラーを掃除するときは電源を OFF し、上段シリコンローラーを上げ、前案内板を取り外してから行ってください。
- シリコンローラーを掃除するときは、電源 OFF 後、十分に温度が下がってから行ってください。
- 本機の電源を OFF して長時間使用しない場合は、ローラーの圧力をかけたままにしないでください。ラミネート後に接触線が発生する恐れがあります。
- 2本のシリコンローラーはラミネーターの重要な部品です。永くご使用いただくために、定期的に適切なメンテナンスを行ってください。

原因	清掃箇所	方法
即時	上、下段シリコンローラーおよび前案内板のインク、のり付着	- 中性洗剤を薄めた水で洗浄してください。 - 有機溶剤（アルコール、ホワイトガソリン、シンナーなど）は使用できません。
週に1度	上、下段シリコンローラー 前案内板	

安全テスト

緊急停止スイッチ

週に 1 回、緊急停止スイッチに異常がないか確認してください。

- (1) 上、下段シリコンローラーを合わせて回転させてください。
- (2) 緊急停止スイッチを押してください。
- (3) 上、下段シリコンローラーが止まるのを確認してください。



日常のお手入れと注意事項

- 研磨材入りの洗剤は絶対に使用しないこと。
- 回転する部品や、摩擦動作がある部品に定期的に潤滑剤を塗布すること。加熱されるパーツには、耐熱潤滑剤を塗布すること。
- 本機の内部に絶対に水が入らないように注意すること。
- メンテナンス作業中は、電源を切ること。

シリコンローラーについて

- シリコンローラーは本機の最も重要なパーツであり、ラミネート製品の品質に直接的な関わりがあります。使用中の取り扱いには十分注意し、定期的なお手入れをお願いいたします。
- ラミネート作業後は、上段のシリコンローラーを上げてください。作業中以外は、上、下段シリコンローラーが長期間圧迫しないように、加圧を解除してください。
- カッターなどでシリコンローラーを傷つけないようにご注意ください。
- ラミネート作業中、シリコンローラーはフィルム表面からの接着剤が付着する恐れがあるため、ラミネート作業後には、薄めた中性洗剤をつけたウェスなどで表面を掃除してください。その際、シンナー、ベンジンなど揮発性の強いものは絶対に使わないでください。また、ガソリンは絶対に使わないでください。
- シリコンローラーを回転させながら拭かないでください。また、一箇所だけ集中して拭かないでください。シリコンローラー表面に部分的なダメージが発生する恐れがあります。
- 下段シリコンローラー上に接着剤や異物が付着した場合は、直ちに清掃してください。
- 清掃をするときは、ヒーターをOFFにしてシリコンローラーが 40℃以下になったのを確認してから行ってください。

日常の点検

- 電源ケーブルが正しく挿入されていること、また、ダメージがないことを点検してください。
- キャスターのロックが正常に機能するか、確認・点検してください。
- 本機の外観（ローラー表面を含む）を目視して、破損した部分がないかを点検してください。
- 光電センサーが正常に動作するかを点検してください。（異物で光が遮断されると、シリコンローラーの回転が停止します。異物を取り除くと、回転を再開します）

光電センサーの点検

- 1) 通常どおり起動します。
- 2) シリコンローラーを回転させます。
- 3) 光電センサーへの光をさえぎり、シリコンローラーが停止するかを確認します。
- 4) 光をさえぎる物を取り除き、モーターキーを押して、回転するかを確認します。

Hint! • フットスイッチで操作している間は、光電センサーが機能しません。

故障かなと思ったら

故障かなと思う前に、もう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源のケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

原因	対処方法
電源ケーブルが正しく挿入されていない。	電源ケーブルを挿入しなおす。
電圧が合っていない。	本機の定格電圧を確認し、適合する電圧のコンセントに挿入する。
緊急停止スイッチがリセットされていない。	緊急停止スイッチをリセットする。

モーターが回転しない

ここではモーターが回転しない場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。

原因	対処方法
光電センサーが障害物に遮断された、または光電センサーが破損している。	メディア押さえ板の向きを P16 に従って、確認する。 障害物を取り除く。 光電センサーが破損している場合は、交換する。
緊急停止スイッチがリセットされていない。	緊急停止スイッチをリセットする。

モーターの回転速度が速すぎるが、速度を調整できない

ここではモーターの回転速度が速すぎるが速度が調整できない場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。

原因	対処方法
電位器が故障している。	電位器を交換する。

メディアが蛇行する

ここではメディアが蛇行する場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。

原因	対処方法
シリコンローラー間の圧力が不均一になっている。またはシリコンローラーが平行でない。	本機を調整する。

メディア送り量がカウントされない

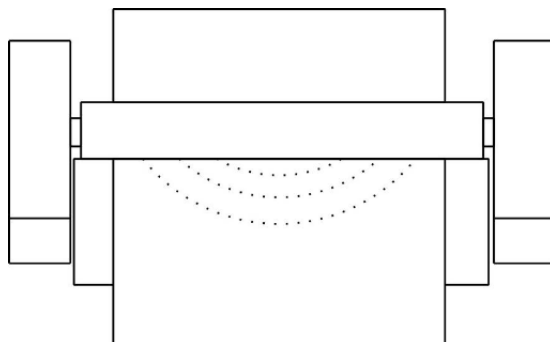
ここではメディア送り量がカウントされず、ディスプレイに正常に表示されない場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。

原因	対処方法
カウンターセンサーが故障している。	カウンターセンサーを交換する。
カウンターセンサーの位置がずれている。	カウンターセンサーを調整する。

ラミネート作業中に、メディアに U 字型のシワができる

ここではラミネート作業中にメディアに U 字型のシワができる場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。

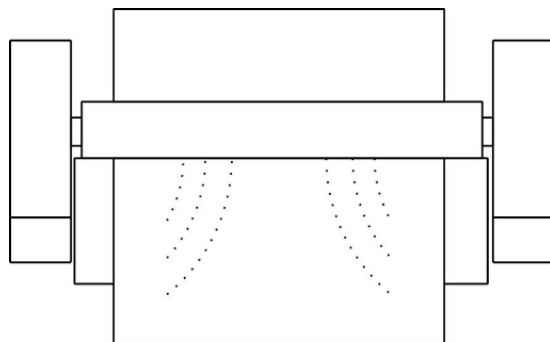
原因	対処方法
シリコンローラー間の圧力が高すぎる。	テンションつまみで、シリコンローラーの圧力を下げる。



ラミネート作業中に、メディアにハの字型のシワができる

ここではラミネート作業中にメディアにハの字型のシワができる場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。

原因	対処方法
シリコンローラー間の圧力が低すぎる。	テンションつまみで、シリコンローラーの圧力を上げる。



仕様

項目		LA-160W	LA-140W	LA-160W Plus	LA-140W Plus	LAR-63	LAR55
最大加工幅		1580 mm	1380 mm	1580 mm	1380 mm	1580 mm	1380 mm
加工厚み		35 mm					
加工温度		常温 ～ 60℃					
加工速度		0 ～ 7500 mm / min					
シリコンゴムローラー径		120 mm					
シリコンゴムローラー本数		2 本					
付属シャフト		3inch×5 本				3inch×4 本	3inch×5 本
付属シャフト取付け方式		駆動部にシャフトはめ込み方式				ワンタッチシャフト取付方式	
フットスイッチ		1 個					
電源		100 V /120V/230V, 50/60 Hz					
定格電流		15 A					
予熱時間		約 30 分					
寸法		2000 × 550 × 1280 mm	1830 × 550 × 1280 mm	2000 × 550 × 1280 mm	1830 × 550 × 1280 mm	2000 × 550 × 1280 mm	1830 × 550 × 1280 mm
重量 (NW/GW)		205 kg / 245 kg	185 kg / 220 kg	205 kg / 245 kg	185 kg / 220 kg	205 kg / 245 kg	185 kg / 220 kg
測長機能	カウント up	-		0 → 999(Max) m		-	
	カウント down	-		200(Max) → 0 m		-	

注意：100V/50Hz の電圧条件で本機を使用すると、加工速度が落ちます。ご了承ください。

MEMO

LA-140W,160W,140W Plus,160W Plus, LAR-55,63 取扱説明書

2026 年 10 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D203229-20-05102026

